

平成30年12月 川口市議会定例会

市長の所信と報告

川 口 市

本日、12月市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には、公私にわたり大変ご多用の中、ご健勝にてご参集を賜り、厚く御礼を申し上げます。

また、先ほどは、平成29年度決算の認定をいただきまして、誠にありがとうございます。

提案理由の説明に先立ちまして、お許しをいただき、所信と市政に関する報告を申し述べたいと存じます。

はじめに、「小児夜間診療体制の整備」について申し上げます。

私は、60万市民の健康は市が自ら守るという使命のもと、中核市に移行し、保健・医療分野の事業の充実に力を注いでおります。その事業の一つとして設置した保健所では、市民の皆さんの生活や健康に深く関わる事務を、これまで以上に迅速で、きめ細やかな対応ができる体制としたところであります。

また、本市内で不足している回復期リハビリテーション病院を産業文化会館跡地に整備できるよう進めております。回復期機能病床の確保は、生活圏内での入院が可能となることから、患者の精神的、経済的負担の軽減につながり、安心で質の高い医療体制の推進に非常に有効であると考えております。

このため、去る10月、第7次埼玉県地域保健医療計画における病院整備計画の公募にあたり、回復期リハビリテーション病院の実現に向け、病床の配分などについて、私自ら埼玉県知事に要望したところであります。

さらに、私が力を入れて取り組んで参りたいと考えているのが、小児夜間診療であります。現在、平日の午後8時から11時までの準夜帯における小児の診療体制は、市内の医療機関が当番医制で実施しておりますが、保護者が病院に連れて行く際には、まず、その日の当番医を確認する必要があり、ご不便をおかけす

る場合もございました。

そこで、平日、土日、祝日にかかわらず、年間を通じて準夜帯における子どもの一次救急診療を1カ所で行なうことができる拠点平成32年4月の開設を目標に整備し、保護者の不安の解消及び利便性の向上を図るとともに、一次救急と二次救急の役割を明確にすることで、医師の負担軽減、医療の質の確保を図って参りたいと考えております。関連する予算案につきましては、今議会に提出いたしておりますが、今後とも、市民の皆さんに信頼される医療体制の整備に全力で取り組んで参る所存でありますので、議員の皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

続いて、平成31年度の予算編成について申し上げます。

私は、平成26年度以降、市税の徴収強化に取り組んで参りました。その結果、平成25年度の市税全体の収納率は90.6%であったものが、平成29年度には95.6%と5.0ポイントの向上を図り、収入額においては、平成25年度の約891億円から平成29年度の約952億円へと、約61億円の増収とし、現在は中核市の平均値を収納率の目標としているところであります。

特に、市県民税につきましては、平成25年度の収納率が86.2%で、県内順位は63団体中最下位でありましたが、平成29年度には92.9%と6.7ポイント上昇し、4年間での収納率の伸び率は県内の市で第1位となり、順位も平成28年度からは60位に上昇させたところであります。

このほか、市有地の積極的な売却により財源を確保し、教育や環境などの施設整備基金の残高を増やすなど、財政の健全化を推し進めて参りました。

こうした取り組みを通じて確保した財源を活用し、土地開発公社の借入金残高

については、いわゆる、三セク債の発行のほか、土地の買い戻しをこれまで以上に進め、平成24年度末の約460億円から平成29年度末の約128億円と、5年間で332億円の大幅な圧縮を図りました。また、一般会計、特別会計及び企業会計に、土地開発公社の借入金を加えた市全体の借入金残高につきましても、平成24年度末の約2,790億円から平成29年度末の約2,685億円へと、5年間で約105億円の大幅な削減を達成したところであります。

このような中、来年度の予算編成にあたりましては、中核市に移行して移譲された事務について、引き続き、確実かつ円滑に執行するとともに、3大プロジェクトである赤山歴史自然公園、川口市立高等学校、新庁舎の完成に向けて着実に事業を進めるため、遺漏なきよう関係経費を計上して参りたいと存じます。

これらに加え、私が現在、更なる選ばれるまちを目指し掲げた「川口の元気づくり政策宣言43 第2ステージ」の様々な施策を、スピード感を持って実現させていくための予算案とする考えであります。

今後、市税収納率の更なる向上のほか、国の財政支援の積極的な活用や公有地の売却・利活用などによる歳入確保に取り組み、必要な施策にはしっかり予算を配分して参る所存であります。

それでは、市政に関しまして、数点ご報告を申し上げます。

第1点は、「夜間中学の設置」についてであります。

夜間中学は、何らかの事情により十分学ぶことができず、学び直しをしたい方や、日本語を習得したいという外国の方が、夢や希望をもって学ぶことができる学校であります。本市では、県内初の公立夜間中学となる芝西中学校陽春分校の

来年4月の開設に向け、現在、旧県陽高校の校舎の改修工事など、鋭意準備を進めているところであります。

これまでに、入学説明会の開催、案内リーフレットの配布などにより、市内、県内において広く周知を図り、8月20日から入学希望者の受付を開始いたしました。現在、受付と面接を随時実施しているところであり、11月26日現在で、44人の入学希望を受けており、その半数以上が日本人でありました。事前の調査では、受け付けした人数より多くの方々が入学を希望されていたことから、今後も引き続き、関係団体などに周知のご協力をいただきながら、更なる周知に努めて参りたいと存じます。

そして、この学校が、市内はもとより、県内の学ぶ意欲のある方々のニーズに対応した全国のモデルとなる夜間中学となることを目指して参る所存であります。

第2点は、「下水道事業の経営の健全化」についてであります。

国は、下水道事業などの公営企業が必要な住民サービスを将来にわたり安定的に提供するためには、中長期的な視点に立った計画的な経営基盤の強化に取り組む必要があるとし、地方公営企業法を適用していない公営企業について、平成32年4月までに公営企業会計に移行するよう要請しているところであります。

一方、本市では下水道事業において、これまでも、生活環境の改善や河川の水質保全、さらには、豪雨による浸水の軽減を図るために必要不可欠なインフラとして、普及促進や施設の老朽化対策などに努めて参りました。今後も市民生活の安全と安心を確保するためには、下水道事業における経営の健全化と効率化を推進し、持続的な事業運営を図る必要があることから、平成31年4月に地方公営企業法の規定の全部を適用するとともに、水道局と組織統合し、上下水道局とす

る予定であります。

関連する条例案につきましては、今議会に提出いたしておりますが、今後とも、市民の皆さんに安心して上下水道をご利用いただけるよう、しっかりと取り組んで参る所存でありますので、議員の皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第3点は、「第11回中小企業都市サミット」についてであります。

今回のサミットは、去る10月25日、26日の2日間に渡り、日本を代表するものづくりの都市が集結した中小企業都市連絡協議会加盟6都市の自治体及び商工会議所の首脳をお迎えし、本市を会場として開催したものであります。

メインテーマを「新しい時代を牽引する人材と技術を支え持続・発展する中小企業都市」として議論が交わされ、産業人材の確保・育成と中小企業経営の継続に向けた事業承継の支援や、創業支援と産業集積の維持・発展、新たな事業展開の支援と有機的なネットワークの形成など、今後、取り組むべき事項について「川口宣言」として取りまとめ調印したところであります。

また、高騰する原材料などの価格転嫁対策や取引条件の適正化への取り組み、中小企業税制全般に関する継続的な税負担軽減策など、地方自治体だけでは解決できない課題に対して国の支援をお願いすべく「国への提言」を取りまとめ、「川口宣言」と併せ、私から直接中小企業庁長官に手渡したところであります。

今回のサミットを契機に、中小企業都市連絡協議会加盟都市の連携を更に密にし、諸課題の解決に向け取り組むとともに、全国の中小企業の活性化を推進して参る所存であります。

第4点は、「川口市市産品フェア2018」についてであります。

今回で4回目となる市産品フェアは、去る10月26日から28日までの3日間、SKIPシティにおいて開催し、これまでで最大規模となる121団体160ブースの出展や、約6万3千人の方のご来場をいただき、盛況のうちに終了いたしました。

速報値ではありますが、期間中の商談件数も880件を超え、中でも公共工事に係る商談件数が136件となっており、前年をはるかに上回る成果をあげております。市産品フェアが本市の企業を知っていただき、商談につながる場所として着実に定着してきたと実感しております。

また、中小企業都市サミットに参加された各都市の首脳を展示会場に案内し、川口が誇る市産品を活用していただけるよう、私自らトップセールスを行なったところであります。

今後も、市産品フェアがもたらす効果を最大限に活かし、市産品をさらに使っていただき、広げていただき、市内経済の大きな好循環につなげていけるよう、しっかりと取り組んで参る所存であります。

第5点は、「第3回 川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり」についてであります。

去る11月11日、郷土愛の育成及び地域経済の活性化を目的に歴史的な財産である日光御成道を舞台に開催いたしました。当日は天候にも恵まれて、沿道には約14万9千人にも及ぶ観客が溢れ、勇壮な時代絵巻をご堪能いただきました。

今回は、初めて、市内小学校の児童や川口市立高等学校ダンス部、腰元役に扮した公募参加者や女子プロ野球チーム・埼玉アストライアの選手の皆さん、約150人がまつりのオリジナルソング「元気川口・御成道サンバ」にあわせて踊

り歩きました。また、このまつり最大の見せ場である日光社参行列では、今回初めて将軍役を務めていただいた俳優の原田龍二さんが、観客からの大きな声援に手を振って応えるなど、大いに盛り上がりました。

今後におきましても、川口の魅力を県内外の多くの方に知っていただくため、日光御成道をはじめとする観光資源の情報発信を強化し、誘客事業を推進して参る所存であります。

この日光御成道まつり、そして川口市市産品フェアが、大成功に終わりましたことは、議員の皆様をはじめ、多くの関係団体や企業、町会・自治会の皆様など、関係各位のご理解、ご協力の賜物であり、心から感謝と御礼を申し上げる次第であります。

さて、今回提案いたしました議案は、予算議案3件、条例等の一般議案20件であります。

予算議案につきましては、一般会計において、民間保育所施設整備費等に係る24億1,618万8千円の補正を、また特別会計では、下水道事業特別会計の債務負担行為補正を、企業会計では、水道事業会計の債務負担行為補正を、それぞれお願いするものであります。

次に、一般議案であります、「川口市職員定数条例の一部を改正する条例」など、条例議案7件、契約議案5件、公の施設の指定管理者の指定議案4件、市道路線の認定及び廃止議案3件、人事議案1件であります。

それぞれの議案内容につきましては、この後、副市長から説明を申し上げますので、慎重にご審議を賜わり、ご可決下さいますようお願いを申し上げます。